

# ていんさぐぬ花

本調子

中	合	尺	上	四	合	老	四	工	中	合	尺	上
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	合	老	四	工	中	合	尺	上	四	合	老	四	工
ていんさぐぬはな													
なや													

中	合	六	七	六	七	中	合	尺	上
ちみさちにすみていうやぬゆし									

四	合	老	四	工	中	合	尺	上	四	合	老	四	工
ぐとうやちむにすみり													

中	合	尺	上	四	合	老	四	工	中	合	尺	上
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	合	老	四	工	中	合	尺	上	四	合	老	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一、ていんさぐぬ花や爪先（ちみさち）にすみてい

親（うや）ぬ教（ゆ）し事（ぐとう）や肝（ちむ）に染みり

二、天（ていん）ぬ群星（むりぶし）や読（ゆ）みば読（ゆ）まりしが

親（うや）ぬ教（ゆ）し事（ぐとう）や読みやならん

三、夜（ゆる）走（は）らす船（ふに）や子（に）ぬ方（ふあ）星（ぶし）目当て（みあてい）

我（わん）産（な）ちえる親（うや）や我（わん）どう目当て（みあてい）

四、誠（まくとう）する人（ひとつ）や後（あとう）や何時（いち）までいん

思事（うむくとう）ん叶てい千代（ちゆ）ぬ栄い

五、宝玉（ちむ）磨かりば錆びす朝夕肝（ちむ）みがち浮世（うちゆ）渡ら

六、なしば何事（なにぐとう）んなゆる事（くとう）やしがなさぬ故（ゆい）からどうならぬ定み